

社会教育ビデオ【一般向け】VHS・DVD 約19分

監修：日本社会事業大学 専門職大学院

准教授 宮島 清

文部科学省選定

子育てに希望を！ 児童虐待のない社会のために



企画意図

今、児童虐待が社会問題としてクローズアップされています。その背景の一つに、母親の子育て環境の問題があると考えられています。母親なら誰でも感じることもある子育ての不安。その不安から起因する問題と、その解決法を、再現ドラマ、埼玉県和光市での取り組みをみていきながら、わかりやすく紹介します。

妊産婦や若い母親、その家族、地域で子どもを支える行政関係者、NPO法人などの皆さんに広く視聴していただき、子育てに希望の持てる社会づくりの大切さ、およびその方法を前向きに考えることを目指しています。

社会教育ビデオ【一般向け】VHS・DVD 約24分

監修：駒澤大学 文学部 社会学科

准教授 荒井 浩道

文部科学省選定

なぜ、介護者が虐待を… 介護者支援から高齢者虐待のない社会へ



企画意図

高齢者に対する家族の虐待が年々増え続けています。2006年、高齢者虐待防止法が施行され、法に基づいた環境整備も進んでいますが、虐待は一向に減少する傾向にありません。虐待は、介護を担う人が精神的・肉体的に追い詰められた末に起こるケースが多いといえます。虐待は直接的な暴力「身体的な虐待」だけではなく、暴言を吐いたりする「心理的虐待」「介護放棄」そして財産などを取り上げる「経済的虐待」など様々です。

そこでこの作品では、様々な高齢者虐待の事例を再現ドラマで示すとともに、6年前に施行された法令の周知を図り、虐待防止のあり方や、悩みを抱えた介護者を支援することの大切さを訴えていくものです。

映学社作品

作品の概要

子育てに希望を! 児童虐待のない社会のために [19分]

■プロローグ■山田彩香さん(仮名・34歳)は、今、生後4か月の赤ちゃんの子育てに不安を感じている。

「また泣くの!」「いい加減にしてよ!」親にとって子供はかわいく、いとおしいものであるはず。ところが…。

■なぜ、子育てに不安を…■飾られた赤ちゃん誕生の時の写真。彩香さんは、赤ちゃんが誕生した時は思わず涙ぐんでしまうほど喜んだ。でも、子育ての不安と自信の喪失。その背景には、子どもはどういう存在なのか、なかなか理解しにくい、母親の抱える問題がある。

■埼玉県和光市の取り組み■和光市とNPO法人とが連携して運営している子育て広場。子育ての不満や悩みに耳を傾けてくれる相手がいるだけで、子育てのストレスは軽くなると、ほとんどの母親が言う。現在、このような子育

<監修 日本社会事業大学 専門職大学院 准教授 宮島清>で広場は、全国の市町村に広がっている。

■訪問型子育て支援■子育て広場にでかけられないほど深刻な悩みを抱えた母親もいる。そうした母親の元への訪問型子育て支援が注目されている。Tさんは、初めての子育てで大きな不安を抱え、毎日がパニック状態だったという。1週間に1回の訪問支援を受け始め、子どもの成長が楽しくなっていた。

■立ち直った山田彩香さんの場合■子育てに絶望していた彩香さんも、相談窓口を探して電話をしてみた。そして子育ての先輩ボランティアの訪問を受けた。今、各自治体は、気軽に子育ての悩みを受ける環境を整えている。悩みを抱えたときに、遠慮することなく支援を求めると、これが児童虐待のない社会を作る第一歩となる。

企画・制作統括 高木裕己

演出 細見吉夫

ライブラリー価格 ¥65,000 (本体価格)

なぜ、介護者が虐待を… 介護者支援から高齢者虐待のない社会へ [24分]

■プロローグ■65歳以上の高齢者に対する虐待件数が増え続けていることが、厚生労働省の調査でわかった。死者数も増加しており、事態は深刻になるばかりだ。では一体、どのような虐待が増えているのだろうか。

■高齢者虐待の事例■暴行と言葉の虐待を再現ドラマで捉えていく。82歳の認知症の母親を介護する57歳の息子。排泄の失敗が続いたことで、息子はつい手を挙げてしまう。老人夫婦のネグレクトや、経済的虐待の問題も描きながら、高齢者に対する様々な虐待の背景には、介護者自身が問題を抱えているケースが多いことを訴える。

■高齢者虐待防止法について■高齢者虐待防止法は、平成18年4月1日から施行されている。この法律の重要なポイントは、従来陰に隠れていた虐待の早期発見を打ち

<監修 駒澤大学 文学部 社会学科 准教授 荒井浩道>

出したことだ。しかし、家庭内での虐待は外からは見えにくく、深刻化しやすい。もし、周囲の人々が、虐待の兆候に気づいたときの連絡方法なども図解していく。

■杉並介護者応援団の取り組み■高齢者虐待防止法のもう一つの重要なポイントは、介護支援。介護者同士が集い、語り合う、「介護者の会」の活動を捉えていく。介護者という仲間と知り合い、語り合える。そのことが、心の負担を軽くしていく。

■支援するネットワークを利用しよう■介護者は、社会のケアを積極的に活用することで、介護の負担が軽減され、心の余裕が生まれてくる。介護の悩みを抱えていたら、まず自治体に相談しよう。高齢者虐待を防ぐには、行政と自治体が緊密に連携し、地域社会を見守っていくことだ。

企画・制作統括 高木裕己

演出 北西洋一 / 村岡麻世

ライブラリー価格 ¥65,000 (本体価格)

制作・著作 株式会社 映学社

VHS・DVD [カラー] / 2012年・映学社作品



〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
http://www.eigakusya.co.jp/

●お問い合わせ、お買い上げは……